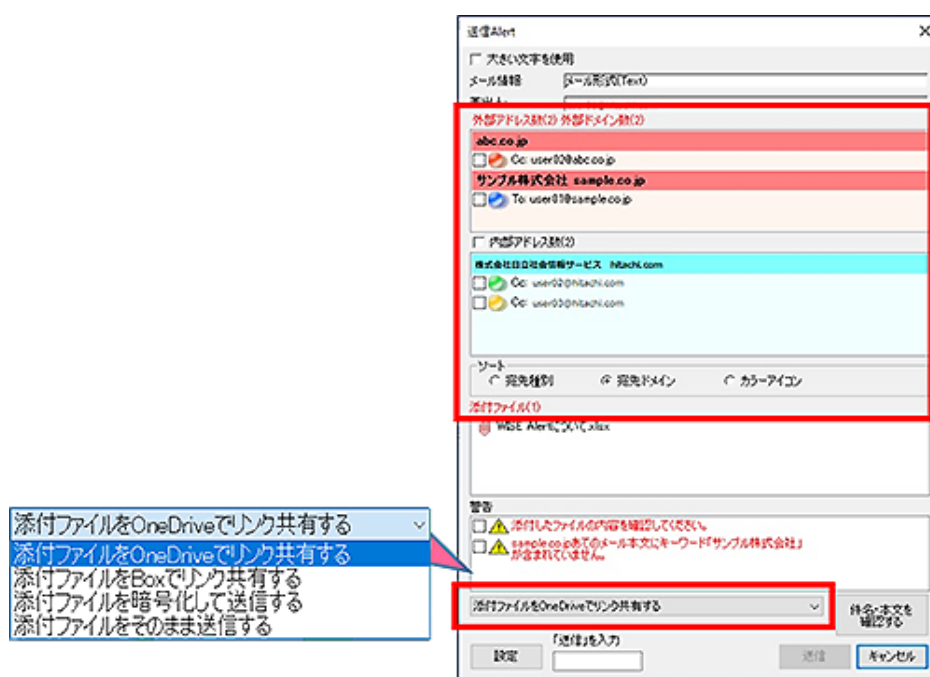


2022年5月11日
株式会社日立社会情報サービス

メールの誤送信を防ぐセキュリティソフトウェア「WISE Alert」を販売開始

顧客環境やニーズに沿ったメールセキュリティを提供

株式会社日立社会情報サービス（代表取締役 取締役社長:松谷 淳／以下、日立社会情報サービス）は、株式会社エアー（以下、エアー社）が開発したメール誤送信対策ソフトウェア「WISE Alert」について販売代理店契約を締結し、本日より販売開始します。



WISE Alert の機能（送信時にポップアップで表示される送信 Alert 画面）

近年、ワークスタイルの変革により在宅勤務やリモート会議が急増する中、メールの送受信件数も増加しており、メール誤送信による情報漏洩をはじめ、なりすましメール・マルウェア感染などのリスク対策の重要性が以前にも増して高まっています。

「WISE Alert」は、メールの送信時に「送信アラート画面」を表示することで、差出人、宛先、添付ファイルなどの情報を確認することができる、メール誤送信対策用の Outlook アドインです。また、フィッシングメールやビジネスメール詐欺など受信したメールに気づきを与える受信アラート機能も搭載しています。専用サーバ不要という導入の手軽さに加え、ポリシー設定などを一元管理できます。

日立社会情報サービスは、これまでも紙や電子メールなどの情報漏洩防止や、顔認証を活用したなりす

まし・不正利用防御などセキュリティをサポートするソリューションを提供してきました。エアー社のメールセキュリティソリューション「WISE シリーズ」についても、膨大なメールデータの保存と効率的な管理を可能にする「WISE Audit」、添付ファイルを自動的に暗号化 ZIP に変換したり、管理者が設定した条件に従ってメールの配送を保留したりする「WISE Attach」の 2 製品をすでに提供しています。今回は、「WISE Alert」を新たに販売ラインアップに加えることで、顧客環境やニーズに沿ったメールセキュリティを提供できるようになりました。なお、「WISE シリーズ」の 3 製品をすべて取り扱っているのは、国内で当社のみとなります。

■「WISE Alert」の主な機能

- ・メール送信時のポップアップ表示による注意喚起：メールの誤送信対策
- ・添付ファイルの OneDrive／Box への分離：PPAP*対策
- ・受信したなりすましメールなどへの警告：マルウェア対策

*メールでパスワード付きの ZIP ファイルを送り、その後別メールでパスワードを送る、といったファイル共有方法。「Password (P) 付きファイルを送ります」「Password (P) を送ります」「暗号化 (A)」「Protocol (P)」の頭文字をとった言葉。セキュリティ面でのリスクが高く、禁止する企業が増加している。

■「WISE Alert」の Web サイト

<https://www.hitachi-sis.co.jp/wisealert/>

■価格

年間契約のサブスクリプションライセンスで提供します。

年額 1,560 円（税込み 1,716 円）／1 ユーザーライセンス（50 ユーザーまでの単価。50 ユーザーを超える場合は別途お問い合わせください。）

■商標注記

- ・WISE Alert は株式会社エアーの登録商標です。
- ・その他、本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、各社の登録商標または商標です。

■お問い合わせ先

株式会社日立社会情報サービス CSR 部 広報グループ [担当：森崎、照屋]

〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 26 番 3 号 大森ベルポート D 館 17 階

https://inquiry.hitachi-sis.co.jp/webapp/form/24221_pvjb_8/index.do?a=43

以上